

ソフトウェア品質管理研究会での使用するツールについて

一般財団法人日本科学技術連盟

第 39 年度（2023 年度）では、企業の皆様が安心して参加し研究活動ができるよう配慮を行った上で、「ハイブリッド（集合・オンライン）」で開催をさせていただきます。オンラインにて、研究活動を実施するにあたり、下記のツールを使用いたします。同意の上、お申込ください。

■Zoom（必須）

本研究会では、午前の「特別講義」、午後の分科会活動ともに、ビデオ会議システム「Zoom」を使用します。事前にアプリケーションのインストール（※）をしていただき、テストサイトにて、スピーカーとマイクのテストを行ってください。

◇アプリケーションのインストール：<https://zoom.us/download>

◇テストサイト：<https://zoom.us/test>

■メーリングリスト（日科技連開設）

本研究会では、研究活動を円滑に進めていただくために、各コースのメーリングリスト（ML）を開設します。初期登録するアドレスは、お申込時に登録いただきましたアドレスとさせていただきます（本 ML のご登録は、ご参加いただく研究員のみとさせていただきます）。

■オンラインツール：Miro、GoogleJamboard、Kintone 等

演習・研究活動を進めていく上で、各コースで準備するオンラインツールを使用します。具体的に使用するツールは、指導講師と参加者で相談の上、決定します。

■論文査読・投稿システム「EasyChair」

成果報告書の申請・投稿に EasyChair を利用してまいります。EasyChair は、もともとマンチェスター大学によって開始された会議運営のためのサービスであり、現在は、専門企業「EasyChair Ltd」を立ち上げて運営を行っている、いわば世界標準の会議運営サービスとなります。

※各社のセキュリティの都合上、アプリケーションのインストールができない方でもブラウザ上で参加可能ですのでご安心ください。ブラウザからの参加方法は、Zoom のヘルプセンター（<https://support.zoom.us/hc/ja>）でご確認ください。

※「Zoom」はお申込後、「EasyChair」は執筆の時期がまいりましたら、ガイドラインをお渡しいたします。

以上